

# 11.1 権力・当局・動労「本部」の破壊策動を粉砕 指名スト・減産闘争を闘い抜く!

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!



「本部」反動暴力分子のスト破り策動

### 1 増送用機関車の送り込み

動労千葉は一〇月三十一日一八時、拠点成田支部で開催された総決起集会在動労千葉五〇〇、反対同盟、支援共闘二〇〇、計七〇〇名の結集をもって圧倒的高揚をかちとり、他支部からの動員者も含めた万全の籠城体制の中で、十一月一日早朝からのストライキに突入しました。

これに対し、「本部」反動暴力分子はジェット増送と動労千葉の闘争破壊に卒先協力し、一〇月二八(三〇)日の三日間には、ジェット増送用機関車三両が、はるばる門司、岡山、新潟の各地から東京地本へ新鶴見、大宮、武蔵を経て送り込まれて来ました。

動労千葉は青年部の連日の籠城体制による阻止行動を展開し、機関車は新小岩構内で立ち往生しています。一方、「本部」反動暴力分子は一〇月二九日新小岩へ来て「ジェット用の機関車搬入阻止にきました」とマンガチックなことを言い、新小岩支部組合員に「ふざけるな」と一喝され、「『本部』反動分子の闘争破壊を許さないぞ!」「これは岡山からの機関車」「これは門司...」「これは新潟...」と怒りのスローガン書きで埋めつくされた機関車を前に、茫然と立ち尽くしていたのです。

### 2 闘争破壊のためのデマビラ

また一〇月三〇日には、翌日からの減産闘争へ向けたオルグ活動が行われている津田沼支部乗務員詰所へ七名の暴力分子が顔を引きつらせて乱入し、いきなり10・22ストを誹謗するビラをまこうとし居合せた動労千葉組合員の気迫に圧倒されて庁舎外へ逃げ出し、昼休みに中庭でゲームをやったり、団らんしていた動労千葉や国労の組合員が玄関前へ集まり出したことに驚愕し、ヤミクモに入区電車の前面に飛び出し、急停車した電車の前面に自ら衝突する失態を演じています。

この電車を運転していた静岡からの助勤者(動労組合員)と誘導していた構内運転係が怒り心頭に発してこの暴力分子達をドナリつけたことは当然です。「本部」反動分子はこの構内運転係が動労千葉組合員であったことを利用し「誘導係が暴力を

動労千葉は二三〇〇名の機動隊と助役機関士で輸送強行を策した権力・当局。「本部」反動暴力分子一体となった闘争破壊策動を粉砕し、11・1第二波スト、減産闘争を万全の体制で闘い抜きました。動労千葉はジェット燃料輸送列車五本をストップし備蓄ゼロへと、大きく前進したこの闘いをさらに前進させ、79秋年(80春闘)に向けて闘い抜く決意です。動労の戦闘的伝統を守り、職場を守るために共に決起しようではありませんか。

「ふるった」等と事実を一八〇度ひっくり返した宣伝を行ってしています。しかし、走行中の電車の前面に飛び込まれた運転士や構内係が怒ることは当り前のことです。

### 3 動員者を利用して権力を導入

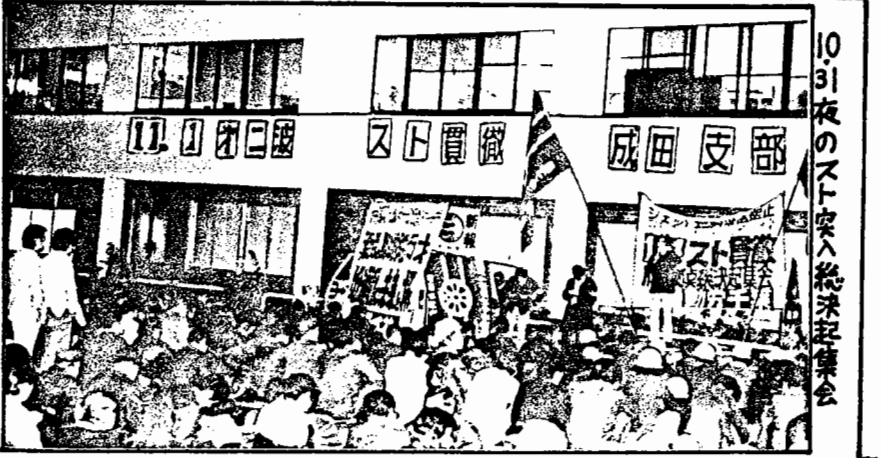
この10・30津田沼電車区における事態は、暴力団詰所へ「動労本部・千葉事務所」に巣くう動労東京革マル・山崎が、東京地青・鳴海以外は何も知らない動員者を「千葉は暴力をふるうぞ」「千葉は恐いぞ」と信じ込ませ、「それでもビラをまいて来い」とどう喝して津田沼支部へ送り込み、根拠のない恐怖に動転した動員者が逃げ出した。一心で演じた失敗に外なりません。この事態は革マル分子・山崎が何とか動労千葉の闘争破壊のために警察権力を引き入れる口実を与えるために、動員者を「鉄砲玉」として利用したことによって引き起こされたのです。

## 動労千葉指名スト 燃料輸送五本も止まる

【千葉、成田】成田空港へのジェット燃料輸送列車は、一日から一日あたり五千五百リットルに増産される計画がスタートしたが、これに反対する国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉、開川室委員長、千二百人)の指名ストなどで初日は完全実施できず、実質的なスタートはあす二百リットルに減らさるようになった。

動労千葉は、この日始発時から燃料輸送列車乗務員の指名ストのほか、国電区間は昼、他の線区では終日全乗務員の「減産B行動」(安全確認、一割減速)を繰り広げた。

このため、燃料輸送列車一日七本のうち、鹿島ルート四本、千葉ルート一本の計五本(四千五百リットル)がストップ、正常運転されるのは今夕と翌朝に運抵される両ルート一本ずつの計二本(千五百リットル)だけとなった。また、管内全線区で三十五・五分の遅れが出て、国電千葉駅では、午前八時過ぎに一回、階段規制が行われたが、ダイヤは夕方までに回復した。



10日夜のスト突入総決起集会